



桃一通信

No. 6 5 9

桃井第一小学校
(3390)3178(代)

令和3年 12月号



二者択一の論理ではなく

校長 高橋 浩平

12月です。早いもので今年も残り1か月となっていました。保護者の皆様には、11月20日のモモデミーショー（学習発表会）のご参観、どうもありがとうございました。感染症対策をしながらの開催で、人数も制限という形ではありましたが、皆様のご協力のもと、終えることができました。ありがとうございました。

さて、先月号で「来年度の桃一小の教育活動もこの『教育ビジョン2022』（「みんなのしあわせを創る杉並の教育」）が土台に来るわけですから、様々な意見を聞きながら、具体的な教育活動について詰めていきたいと思っています。」と書きました。これから、次年度の教育活動についても保護者の皆様とともに考えていきたいと思っています。

10月に行われたモモリンピックの感想、ありがとうございました。皆様から寄せられた感想を丹念に読ませていただきました。特徴的なことは「コロナが終息しても今の形（学年ごとの発表）がよい」という意見と「コロナが終息したら以前のような形（全校での運動会）に戻したい」という意見が、それぞれ同じくらいあったことです。

「学年ごとの発表」だと、保護者もゆとりをもって参観できる。これくらいの時間がちょうどいい、という意見もよくわかります。他方「全校での運動会」で大集団のダイナミックな経験をさせたい。他の学年の演技も見たい、という意見もこれまたよくわかります。しかしながら、こうなると、「学年ごとの発表」になれば、「全校での運動会」の方がいいと考えている方にとってはがっかりでしょうし、その逆もまたしかりです。ここを突破する手段はないものなのでしょうか。

桃一小には現在800人の児童がいます。家庭数は646人ですから、少なくとも646の家庭の思いがそれぞれある訳です。「学年ごとか全校か」という二者択一の論理ではなく、少なくとも、多くの人にとってベターな選択をしていきたいと思っています。二者択一や三択など、選択肢から選ぶ、ということではなくて、議論をしながら、できるだけ多くの人が納得するような形をとれるといいのかなと考えています。

なお、感想の中では、「オンラインでの配信」を望む声もありましたが、現時点では「ライブ配信」は何が映りこむかわからないので、個人情報セキュリティ条例の関係でできないことになっています。また著作権法の関係で、運動会などはかかっている音楽がほぼ法律に引っかかるだろうとも言われています。映像を編集して限定配信することは可能だと思いますが、そこまでの時間的人数的な余裕がないのが正直なところです。そこはご理解いただければと思います。一方で、コロナ対応の緩和で、日常の授業の参観が可能かなとも思っています。感染症予防をしながらですが、3学期に授業参観を予定しています。そうした機会をうまく生かしていただけたらと思います。

杉並区の新しい教育ビジョンでは、児童生徒も保護者も教員も（もちろん地域の皆さんも）「一人ひとりが教育の当事者」として共に認め合いながら協力していくことが記されています。これからもどうぞよろしくお願いします。よいお年をお迎えください。

「学校をきれいにしよう」

今年もあと1ヶ月になりました。ご家庭でも、大掃除を始めているところもあると思います。学校も、2学期のしめくりと合わせ、学校をきれいにすることを目標にしています。ゴミが落ちていたら拾う、自分から進んで掃除をするなど、当たり前のことですが、しっかりと身に付けることができるよう指導しています。

今学期、残り僅かな時間の中でも、子供たちが自分たちでしっかり掃除をします。一年間の汚れをすっきり落として、気持ちよく学習、生活できる環境を整え、冬休みを迎えることができるようにしていきます。

ぜひご家庭でも、子供たちに役割を与え、計画的に年末の清掃に取り組ませてください。



11月18日（木）～20日（土）の3日間、モモデミーショーが行われました。今年度は、感染症対策のため、各家庭で保護者1名の鑑賞となりました。無事に開催できましたのも、保護者の皆様のご協力があったからこそです。誠にありがとうございました。

今回のモモデミーショーは、各学年で一から発表を作り上げました。感染症対策をしながらの練習は普段とは違って大変なこともありました。しかし、友達とアドバイスをし合って練習を重ね、本番に向けて高め合うことができました。このモモデミーショーを通して、一つの作品を作り上げた達成感や一体感を感じられていたら嬉しく思います。

今回のモモデミーショーで学んだ「協力」や「練習」の大切さを、今後の学校生活の中で生かしていってくれることを願っています。

1年「ももまつりにいきましょう」 初めての学習発表会が終わりました。大きな緊張感の中でしたが、どの子も自分の役を精一杯演じることができました。みんなで協力して、大きなことを成し遂げ、達成感、満足感を味わえたことは貴重な学びになりました。『みんながスーパースター』の合言葉で頑張った子供たち。今後の活躍がますます楽しみです。	2年「少年少女冒険隊」 皆が一生懸命になることや、皆で協力することの大切さを学び、2年生はまた一步、前に進むことができました。運動会とは一味違う緊張感の中、子供たちは、1・3年生への会場での発表、鑑賞の機会にパワーを得て、最終日には学年の皆が一番の力を発揮することができました。これからのさらなる成長が楽しみです。	3年「未来へ 4 Seasons」 人数やできることが限られている中、3年生は自分たちで考え、一つのものを作り上げました。何度も練習する中で、みんなで気持ちを一つにする喜びを感じ、本番では大きな達成感を感じていました。「モモリンピック」「モモデミーショー」で学んだことを活かし、これからの3年生の「未来」に期待したいです。
4年「おどりよせ日本全国お祭りツアー」 モモデミーショーという大きな目標に向かって、一人ひとりが役割を果たしました。自分で決めた役割だからこそ、ひたむきに努力する子供たちに、大きなパワーを感じる毎日でした。お互いの能力を認め合い、クラスが一丸となって活動できた経験を活かし、4年生のさらなる躍進に期待します。	5年「伝承プロジェクト」 いつもと違った形での行事となりましたが、みんなで協力して、成し遂げることができました。「伝統文化を伝承する」ということをテーマに、子供たちが一から流れ・台本・発表の方法を考えました。実行委員を中心として、活動する姿に成長を感じました。さらなる飛躍を楽しみにしています。	6年「桃一ニュース ONE」 「モモデミーショー」という行事名を6年生みんなで決め、自分たちが行事を作っていくという気持ちをもって取り組むことができました。南伊豆移動教室での体験を基に、自分たちで資料やコントを一から作りました。本番までに少しでもよいものを見せようと努力する姿に成長を感じました。

3年生の取り組み

総合的な学習の時間「カイコの繭の糸取り体験」



総合的な学習の時間「カイコについて調べよう」では、各クラスで実際に卵からカイコを育てました。校庭にある桑の葉を毎日あげ、世話も頑張っていました。日に日に大きくなるカイコを眺めては、「いつ繭を作り始めるのだろう。」と興味津々の様子でした。

育てているカイコが成長した頃、講師をお招きし、実際に湯の中に繭を入れて、そこから割箸で引っ掛けながら生糸を取り出す体験をしました。子供たちからは「糸を取るの難しい。」「細くても切れないんだ。」と素直な感想が聞けました。また、実際に糸車を回す作業もさせてもらい、たくさんの繭から長い生糸を取ることもできました。実際に自分たちで生糸を作る貴重な体験となりました。

総合的な学習の時間「地域安全マップ作り」

総合的な学習の時間の「地域安全マップを作ろう」の学習で、学区の安全な場所、危険箇所を探しにフィールドワークへ出掛けました。

当日は、安全を見守ってくださる保護者の方々と7、8人のグループを組んで、通学路にある安全な所と危険を感じる所の写真を撮り、その理由について友達と話し合いました。「ピーボ君の表示を見つけた。」「ガードレールが無いから危険だね。」「自分の通学路の危険箇所がよく分かった。」など、どのような場所に気を付ければよいか、判断することができました。調べたことをマップにまとめて、学区の安全な場所・危険な場所を皆で確認することができました。



社会科「わたしたちの暮らしと商店のしごと」



社会科では、「わたしたちの暮らしと商店のしごと」の学習で、学校の近くのスーパーマーケットの秘密を探りました。全員で足を運ぶことはできませんでしたが、普段自分が買い物をする中で疑問に思うことや、店員さんに聞いてみたいことを動画にして、スーパーマーケットの店長さんに見ていただき、実際に答えていただくことができました。バックヤードの動画も撮らせていただき、肉を切る手さばきに興味津々の子、パンをスライスする機械の精密さに驚く子など様々でした。身近なスーパーマーケットの秘密を見つけられた、貴重な体験となりました。

体験的な活動を大切にして、学習を深めていけるようにしています。